

	発行者	東京書籍株式会社	大日本図書株式会社
	書名	新編 新しい 生活	新版 たのしいせいかつ
（ア） 教科・種目に共通な観点	①編修の趣旨と工夫	児童の発達や特性に合わせて活動範囲が広がっていくように学習活動が構成され、児童・保護者・教師等、学びを支える全ての人が生活科の「学び」を共有し、連携できるようになっている。	「見る」「さわる」といった諸感覚を活用し、児童が自ら対象に働きかけ、自分の生活をよりよくしていこうとする学びのプロセスが自ずと成立するような構成になっている。
	（フ）教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連 「教育基本法（第1条、第2条）及び学校教育法（第30条2項）に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ①生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮 ②未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮 ③学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	○育成すべき資質・能力の3つの柱を、見出しにマークで具体的に示している。 ①「やくそく」や「かつどうべんりてちょう」など、学習活動に即した習慣や技能が身に付けられる資料が設けられている。 ②気付いたことを表現し、考える多様な表現活動や交流活動が豊富に示されている。 ③自分自身の成長や満足感、成就感などを感じ、意欲や自信をもって次の活動や自分の生活に生かそうとしている姿が具体的に示されている。	①資料「がくしゅうどうぐばこ」や「ウェブがくしゅうどうぐばこ」に豊富な資料を掲載し、基本的な知識や技能の取得が図れるように配慮している。 ②答えを示すのではなく、児童自身に考えさせるための投げかけを示すことで、思考力がはぐくまれるように配慮している。 ③活動後の振り返りから、児童の思いや願いをもとに次の活動へとつながる流れを意識して紙面を構成している。
	（イ）市町の方針との関連 ①小田原市 ②箱根町 ③真鶴町 ④湯河原町	○各市町の方針を踏まえている。 ・安心、安全に配慮した資料で適切な習慣や技能が身に付くよう配慮している。 ・身近な自然と繰り返し関わったり、動植物を継続的に飼育、栽培したりする活動が種類豊富に設けられている。 ・昔から伝わる伝承遊びや、草花遊び、伝統行事、節気、節句や季節の行事をイラストや写真で紹介している。	○各市町の方針を踏まえている。 ・継続的な飼育、栽培活動などの体験を通じて、生命尊重の心情が育まれるよう配慮している。 ・巻末資料で自分の身を守るための習慣や技能が身に付くよう配慮している。 ・昔遊びや地域の行事などを通して、日本の伝統、文化に愛着がもてるよう配慮している。
	（ウ）内容と構成 ○小学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮 ②他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮 ○学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ③言語能力の確実な育成 ④伝統や文化に関する教育の充実 ⑤体験活動の充実 ⑥学校段階間の円滑な接続 ⑦情報活用能力の育成 ⑧児童の学習上の困難さに応じた工夫 ○児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	①生活科の「深い学び」が具体的にイメージできるような挿絵を示し、「学びをふかめる」コーナーを設けている（下巻）。上巻は、振り返り活動を通した深い学びの例を掲載している。 ②他教科との関連的な指導のヒントや関連を図った学習活動例、表現活動例が豊富に掲載されている。 ③第3学年以降の理科や社会科等で活用できる「学び方」が示されている。 ④活動を振り返ったり、気付いたことを交流したりする言語活動が充実している。 ⑤昔から伝わる遊びや地域の行事等が豊富に掲載されており、地域への愛着を深める学習活動が設けられている。 ⑥児童の試行錯誤が生まれるような環境構成で、繰り返し活動を促している。 ⑦スタートカリキュラムに配慮し、小1プロブレムに対応している。 ⑧デジタルコンテンツを用意し、活動に参考になる資料を準備している。また、メディアリテラシーを含めたICT機器の使い方が身に付くように工夫されている。 ○学習の流れを示した黒板が挿絵に描かれており、具体的活動のイメージや活動の見通しをもつことができるようになっている。	①表現活動を適切に位置付けており、絵や動作化、劇化など、多様な表現方法の例示や伝え合いによる学びの共有化を促している。 ②合科的・関連的指導が効果的と思われる場面には、マークで示されている。 ③「せいかつことば」や「きらきらことば」などの話型を示すことで、子ども自身の言葉を引き出し、語彙力を育成する工夫がされている。 ④昔遊びや地域の行事等に興味が持てるように配慮している。 ⑤児童の試行錯誤が生まれるような環境構成で、繰り返し活動を促している。 ⑥スタートカリキュラムに配慮したページが設けられている。また、季節の流れに沿った大単元構成にし、無理なく季節と活動を結びつけたり、児童の発達段階に即したりし、入学直後の柔軟なカリキュラム編成ができるように配慮している。 ⑦タブレット端末等の情報機器活用例が示されている。 ⑧デジタルコンテンツを用意し、活動に際して参考となる資料を準備している。 ○児童から出てくるであろう言葉や発達段階に即した振り返り表記を記載することで、具体的活動のイメージや活動の見通しをもつことができるようになっている。
（エ）分量・装丁・表記等 ①各内容の分量とその配分は適切であるか。 ②体裁がよく、児童が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。 ③文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、児童が理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	①概ねよい。 ②大判の紙面（A4判）でダイナミックな写真を掲載し、児童の思いや願いを膨らませる工夫をしている。 ③ユニバーサルデザイン（フォント、カラー）で統一されている。また、様々な児童が判読しやすいように、全ての漢字にルビを付し、文節で改行している。	①概ねよい。 ②迫力のある写真やモノクロでイメージを膨らませるページ等を設けている。 ②児童の興味、関心を高める写真やイラストをダイナミックかつ豊富に掲載可能なA4版を使用し、閲覧だけでなく書き込みにも不自由がないように配慮している。 ③ユニバーサルデザイン（フォント、カラー）や人権に配慮している。	
（イ） 教科・種目別の観点	①知識及び技能の基礎としての「気付き」や「生活上必要な習慣や技能」を育成する題材として、工夫や配慮がなされているか。	①学びを深める写真や掲示物、板書例が記載されており、児童も教師も参考にしやすくなっている。 ①「かんさつずかん」や「ほんどうのおおきさいきものずかん」（上巻）で、自分で調べる習慣を付けたり、気付きの質を高めたりすることができるようになっている。 ①巻末「べんりてちょう」で習慣や技能、学び方が身に付く工夫がされている。	①教師が教える場面と、児童が考える場面のバランスを配慮し、教師の支援を適切に盛り込み、深い学びを支えるヒントを示している。 ①イラストのつぶやきや教科書に載っている投げかけで子どもの気付きの質を高めるように配慮されている。 ①関連する部分をSDGsマークで示し、児童が関心をもち、理解を深められるようにしている。
	②身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉える題材として、工夫や配慮がなされているか。	②身近な幼児や高齢者、障がいのある児童、外国の人など多様な人々との関わりが、写真や挿絵の中でさりげなく示されている。 ②幼児との交流を通じて、自己の成長を実感できるよう、互恵的、継続的な幼小交流活動が随所に位置づけられている。	②身近な幼児や高齢者、障がいのある児童、外国の人など多様な人々との関わりが、写真や挿絵の中でさりげなく示されている。 ②四季との関連性に留意しながら、自然だけでなく身近な生活からもその魅力や不思議さに気付かせるよう工夫している。
	③児童の興味・関心を喚起させるような題材として、「試す」、「見通す」などの工夫や配慮がなされているか。	③吹き出しやイラストで生活科の見方・考え方を生かした学びの姿（学びのプロセス）を具体化して示している。 ③巻末の「べんりてちょう」では、「やってみようかんがえよう」「やってみようくふうしよう」などの思考を促す学習活動例を示している。 ③すべての単元が試行錯誤しながら思いや願いを実現する学習活動で構成されている。 ③二次元コードを配置し、タブレット端末を使用することで、児童の興味関心に応じて自主的に活用できるように工夫している。	③資料「がくしゅうどうぐばこ」や「ウェブがくしゅうどうぐばこ」を掲載し、児童が諸感覚を働かせ、体全体で対象と関わるように促している。 ③二次元コードを配置し、タブレット端末を使用することで、児童の興味関心に応じて自主的に活用できるように工夫している。 ③長期にわたる栽培活動では、子どもの意欲の継続を図り、次の活動への意欲につながるよう工夫されている。 ③「やりたいことを見つける」→「やってみる・ためす」→「もっと考える」→「つたえ合う・生かす」の4段構成になっており、活動の流れを分かりやすく示している。

	発行者	学校図書株式会社	教育出版株式会社
	書名	みんなとまなぶ しょうがっこう せいかつ	せいかつ
（ア） 教科・種目に共通な観点	①編修の趣旨と工夫	自分の考えをもち、それを他者に伝え、協力して実行する能力や自分と人、社会、自然とのつながりに関心をもち、大切にしようとする態度を育むことを意識して構成されている。	自ら問い、考え続け、社会を創っていく子どもを育てることを意識して編修されている。
	（7）教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連 「教育基本法（第1条、第2条）及び学校教育法（第30条2項）に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ①生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮 ②未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮 ③学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	①「やくそく」「ものしりノート」を設け、活動や体験を通して、身に付けられるよう工夫されている。 ②自己決定の場面を大事にし、主体的に活動していく中で、自分や自身の生活について考えられるような構成となっている。 ③振り返りの場面を大事にしており、単元の終わりには活動とともに自分の成長を振り返るように構成している。 ③「もっと」ページを設定し、単元が終わった後も学んだことを生かして、意欲的に活動を継続、発展できるように配慮されている。	①生活科で育成する資質や能力を「サイコロマーク」で示し、学習の「めあて」がつかめるようになっている。 ②言葉、絵、動作、劇化、ICT機器の活用など、多様な表現活動が繰り返し例示されている。 ②クイズになっている資料や創造力や想像力を必要とする「もしも」が設けられ、考えたい工夫がされている。 ③導入に経験や意欲を喚起する「わくわくスイッチ」、気付きを促す「はっけんロード」、振り返りを促す「ぐんぐんはしご」が設けられ、学び方を身に付け、主体的学びが展開できる工夫がされている。
	（イ）市町の方針との関連 ①小田原市 ②箱根町 ③真鶴町 ④湯河原町	○各市町の方針を踏まえている。 ・栽培・飼育単位では、継続的に生き物と関わる活動を通して、生命や自然、環境を大切にする態度を養えるように配慮している。 ・伝統的な遊びを取り入れたり、各地の伝統的な行事を紹介したりして我が国の伝統と文化に愛着がもてるように配慮している。	○各市町の方針を踏まえている。 ・地域の慣習や行事に目を向ける活動や資料が豊富に掲載されている。 ・自分らしさや成長し続ける自分を実感し、成長を支えてくれる人々について考える展開が掲示されている。
	（ウ）内容と構成 ○ 小学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮 ②他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮 ○学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ③言語能力の確実な育成 ④伝統や文化に関する教育の充実 ⑤体験活動の充実 ⑥学校段階間の円滑な接続 ⑦情報活用能力の育成 ⑧児童の学習上の困難さに応じた工夫 ○児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	①子どもの主体的な活動意欲を引き出すようなリード文、写真やイラスト、キャラクター、吹き出しなどを工夫している。 ①自分のこととして考えられるよう自己決定の場面を大事に構成している。 ①「学び方図かん」により、自ら活動を広げていけるように配慮されている。 ②理科や社会へのつながりを意識した内容が示されている。 ②他教科と関連する活動が掲載されている。 ③発達段階に応じた記録のかき方のポイントを掲載している。 ④地域の伝統的な行事を紹介し、積極的に参加できるように配慮している。 ④地域の伝統的な遊びを取り上げ、よさを体感できるように配慮している。 ⑤全単元を通して、様々な人やものと直接関わる活動や体験を多く取り入れている。 ⑥「はじまるよ しょうがっこう」を設け、子どもが安心して学校生活を送ることができるような構成を工夫している。 ⑦タブレット、電子黒板などのICT機器の活用例や使用上の注意、約束を記載している。 ⑧記録の記述は、気持ちを表すマークや簡単な言葉から文章を書き込める形式に段階的に示している。 ○各単元はテーマをもち、連続した活動になっており、活動展開が分かりやすく、見通しがもちやすい構成になっている。	①振り返り活動や自分自身で考える場面を豊富に設定している。 ②身に付けたい知識や技能を巻末の「学びポケット」に掲載し、他教科との合科的・関連的な指導により習得できるように工夫されている。 ②理科や社会へのつながりを示す「はってん」コラムを設けている。 ③体験から生まれた実感を伴った語彙力を育むことができるように多様な言葉を例示している。 ④地域の慣習や行事に目を向ける活動や資料が豊富に掲載されている。 ⑤飼育・栽培や試行錯誤を繰り返す創造的な活動、多様な人々と交流し共働的に学習する具体的な体験活動が設けられている。 ⑥「絵本」を取り入れ、幼児期からの学びを円滑に移行できるように構成されている。 ⑦ICT機器を使用した学習活動が豊富に掲載されている。学習に役立つ情報をウェブサイト「まなびリンク」で見ることができる。 ⑧振り返りや友達と伝え合う活動が豊富に設定されている。 ○一緒に学習を進めるキャラクターを設定している。 ○2年間を通して、二人の主人公を設定し、会話やカード、作品例に学ぶ姿や成長を「見える化」している。
（イ）分量・装丁・表記等 ① 各内容の分量とその配分は適切であるか。 ② 体裁がよく、児童が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。 ③ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、児童が理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	①活動の体験の場が1年は学校や学校周辺、2年は地域へと広がるように配慮されている。 ②興味・関心を喚起する大きい紙面（A4変形判）を使用している。 ②本文を見開き単位で構成し、見出しやカードの位置を揃えることで、分かりやすく表現されている。 ③ユニバーサルデザイン（色使い、フォント）に配慮している。	①発達段階に応じて、学校から地域へ活動が広がっていくように配慮されている。 ②低学年児童に適した大きい紙面（A4判）を使用している。 ③ユニバーサルデザイン（配色、レイアウト、フォント）で統一している。	
（イ） 教科・種目別の観点	①知識及び技能の基礎としての「気付き」や「生活上必要な習慣や技能」を育成する題材として、工夫や配慮がなされているか。	①キャラクターの具体的なつぶやきで子どもの思考を促すように工夫している。 ①栽培については、「たとえる」「くらべる」「よそうする」など観察の視点や記録の仕方、タブレット端末を扱う場面も記載している。	①身近な人々、社会、自然と関わる体験活動が設けられ、よさや関わりに気付くことができる工夫した内容や設定になっている。 ①学び方をナビゲートするキャラクターの具体的な問いかけて子どもの気付きの質を高めるように配慮されている。 ①学習を通して感じたことや分かったことなどを記入できる「書き込み欄」を設けている。 ①「学びのポケット」を設定し、道具の使い方等、写真を使って分かりやすく掲載されている。
	②身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉える題材として、工夫や配慮がなされているか。	②外国人キャラクターや多様な言語表記の案内板の写真など、他国の文化に目を向け、自分との関わりで考えられるように配慮している。 ②身近な幼児、高齢者、障害のある人との関わりが写真、イラストで示されている。 ②他者との関わりでは、「ありがとう」という感謝の気持ちを大切にしよう配慮している。	②高齢者、幼児、外国人、障害のある人などの交流や活動が設けられており、同じ学校や地域で共に生活していることに気付き、適切な活動ができるように配慮されている。
	③児童の興味・関心を喚起させるような題材として、「試す」、「見通す」などの工夫や配慮がなされているか。	③活動の参考にできるように話し方や発表の仕方など、学び方のポイントを示した「学び方図かん」を掲載している。 ③活動例が記載された「ものしりノート」や季節に合わせた虫や植物の例が示され、興味・関心を引き出すよう工夫されている。	③単元の終わりに「ぐんぐんはしご」を設け、キャラクターの言葉や位置をヒントに自己評価ができるようになっている。 ③見付ける、比べる、例える、試す、見通す、工夫する等の多様な学習活動を「ひんと」に例示している。

	発行者	光村図書出版株式会社	株式会社新興出版社啓林館
	書名	せいかつ たんけんたい	わくわく せいかつ(上) いきいき せいかつ(下)
ア 教科・種目に共通な観点	①編修の趣旨と工夫	「個性を生かし、主体的な学びを深める」、「対話的・協働的な学びを広げる」、「学びを積み重ね、自覚的に高める」ことを基底において編修されている。	「豊かな体験と活動」を大切に、「わくわく」と何度も見たくなる、「いきいき」と生活できる、「ぐんぐん」と成長できることを目指し編修されている。
	(7) 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連 「教育基本法（第1条、第2条）及び学校教育法（第30条2項）に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ①生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮 ②未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮 ③学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	①導入ページでは児童が自分との関わりで興味・関心を高められるよう、これまでの経験を想起し、活動の見通しがもてる問いが位置づけられたり、身近な学習材の写真がダイナミックに配置されたりしている。 ②全単元に「学び方のヒント」が設定され、つまずいたときや試行錯誤するときには大切になる考え方や、活動、表現のバリエーションのヒントが示されている。 ③単元末の振り返りでは、自分の言葉で活動をまとめ、学びが日常生活につながるよう意識して構成されている。	①「びっくりずかん」や「がくしゅうずかん」、「デジタルたんけんブック」には、多様な資料が掲載されており、知識の習得をサポートし、気付きの質を高められるようになっている。 ②見つける、比べる、たとえる、試す、見通すなどの視点に注目させたい場面には「学びのキーワード」としてマークが付され思考を深めるヒントが示されている。 ③「できるかなできたかな？」では、3つの柱をもとに整理された振り返りをもとに、自らの成長や学びへの深まりを実感することで、次の活動への意欲が育まれるよう意識して構成されている。
	(4) 市町の方針との関連 ①小田原市 ②箱根町 ③真鶴町 ④湯河原町	○各市町の方針を踏まえている。 ・上下巻それぞれに、飼育・栽培単元が設けられており、活動を積み重ねる中で、生命の尊さが実感できるよう工夫されている。 ・SDGsに代表される現代的な諸問題について、外来生物との関わり方や3R、資源を大切にすることなど、低学年でも考えたり取り組んだりできる内容が無理なく取り上げられている。	○各市町の方針を踏まえている。 ・動植物に関わる単元では、生命の大切さや生き物を慈しむ心を育てるとともに、生命の連続性に気付くことができるよう配慮されている。 ・環境問題や食料問題など自分事として捉えるきっかけとして、自分自身の生活の工夫、自然との関わり方、身近な社会の工夫について考えることができる SDGsに関する資料が充実している。
	(ウ) 内容と構成 ○ 小学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮 ②他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ③言語能力の確実な育成 ④伝統や文化に関する教育の充実 ⑤体験活動の充実 ⑥学校段階間の円滑な接続 ⑦情報活用能力の育成 ⑧児童の学習上の困難さに応じた工夫 ○ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	①対話を促す学習環境が随所に提示されている。また、小単元のふりかえりが「情意面」と「資質・能力の面」で構成され、児童が自ら学びや変容を自覚できるように工夫されている。 ②他教科との合科、関連や中学年への接続の例が豊富に示されている。 ③言葉や絵、動作、劇化等、発達段階や活動内容に合った多様な表現方法が示されている。 ④各地域の伝統行事や季節の行事、古くから伝わる遊びなどが豊富に掲載され、児童が身近な伝統文化に目を向けるきっかけとなるよう配慮されている。 ⑤全単元において、児童にとって身近で取り組みやすい学習活動や学習対象が取り上げられている。 ⑥スタートカリキュラムでは、児童が安心感や自信、期待感をもって学校生活を始めることができるよう、授業の様子や児童の姿が具体的に示されている。 ⑦ICT 機器や思考ツールの活用例が写真で具体的に分かりやすく示されている。また安全にかかわる動画やアニメーションが二次元コードコンテンツに収録されている。 ○ 学習の進め方がひと目で分かるように、小単元は、活動が一覧で見開き完結の構成になっている。	①紙面右下の「めぐり言葉」で児童の「次の活動に向けての思いや願い」が例示され、単元を通して学びが連続的・発展的に深まるよう工夫されている。 ②他教科との関連を図った学習活動の場面には、「他教科マーク」を表示し、合科的・関連的な指導のカリキュラムを編成しやすくしている。 ③発達の段階や他教科等との関連、中学年以降への接続などに配慮しながら、段階的に設定されている。 ④伝統的な遊びや各地の伝統行事を例示し、日本の伝統文化に愛着をもてるように配慮されている。 ⑤「いきいき」の段階で、見る、聞く、触れる、作る、探す、育てる、遊ぶなどして対象に直接働きかける学習活動が大切にされている。 ⑥スタートカリキュラムに関する単元を設定し、歌や遊びを取り入れた活動や生活科を中心とした合科的・関連的な学習活動が例示されている。 ⑦学習のねらいや ICT 機器の特質などに応じて、効果的な学習場面が例示されている。二次元コードを読み込むと「でじたるたんけんブック」という電子ブックや「学びウェブ」を活用できる。 ○ 学びのプロセスを考慮し、活動のながれを3段階で分かりやすく示している。
(イ) 分量・装丁・表記等 ① 各内容の分量とその配分は適切であるか。 ② 体裁がよく、児童が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。 ③ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、児童が理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	①概ねよい。 ②小単元名、活動のめあて、「学び方のヒント」、「ふりかえろう」などの学習要素パターン化して配置し、紙面の構造を統一している。また、「生きもの図かん」や「ひろがる生活じてん」などの資料が別冊化され、必要に応じて持ち歩いたり、自発的に確認したりしやすい体裁となっている。 ②低学年児童に適した大きい紙面(A4判)を使用している。 ③ユニバーサルデザイン(書体、配色)で統一されている。	①概ねよい。 ②小単元名、本文、コーナー、マークなどの位置は、定位置に固定されている。また、学習活動の中で読む必要のある記録カードは傾けて配置せず、読みやすい紙面になっている。 ②低学年児童にとって取り扱いやすい大きさで、人の目からの情報受容にも適した形状の、AB版(ワイド版)の版型が採用されている。 ③ユニバーサルデザイン(書体、配色、デザイン)で統一されている。	
イ 教科・種目別の観点	①知識及び技能の基礎としての「気付き」や「生活上必要な習慣や技能」を育成する題材として、工夫や配慮がなされているか。	①別冊「ひろがるせいかつじてん」では、記録の仕方や道具の使い方、ルールやマナーなど、汎用的な資料が掲載されている。 ①写真やふきだしの中で、どんな気付きがえられるのか例示されている。 ①学習活動の流れの中で自然と身に付くように位置づけている。	①巻末「がくしゅうずかん」では、調べ方、記録の仕方、道具や用具の使い方、安全上の注意などの基本的な知識技能・学び方が身に付く資料が掲載されている。 ①「こんなときどうしよう」や「学びのヒント」で、着実に身に付くよう工夫されている。
	②身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉える題材として、工夫や配慮がなされているか。	②身近な幼児や高齢者、障害のある人との交流を重視し、多様な人々との関わりをきっかけとなるよう、意識して写真やイラストで示している。	②幼児や高齢者、外国の人、障害のある方など多様な人々と分け隔てなく関わるようすが写真やイラストで示されている。 ②外部人材の例として地域のお年寄り、農家の人、町で暮らす人や働く人など、児童の生活を支える人々との交流が示されている。
	③児童の興味・関心を喚起させるような題材として、「試す」、「見通す」などの工夫や配慮がなされているか。	③表情豊かに活動する児童や教室での学習環境の写真が掲載されており、児童の意欲を喚起する構成になっている。 ③導入(単元扉)・展開(学習活動)・振り返り(まとめ)という学習過程を見通しやすい単元構成となっている。	③単元の流れが「わくわく:意欲の喚起」→「いきいき:直接体験」→「ぐんぐん:振り返り」の3段階構成で示されており、見通しをもちやすい構成となっている。 ③導入が単元扉と「わくわくタイム」の4ページで構成され、児童が思いや願いを高め、主体的な活動へ導くよう配慮されている。

